SONY

3-238-575-06(2)

TV(1-12ch)/FM/AM PLLシンセサイザーラジオ

取扱説明書•保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICF-M770V

* 3 2 3 8 5 7 5 0 6 * (2)

品　名　ラジオ

型　名　ICF-M770V

保証書　T10-1001A-4

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

主な特長

- 安定した受信ができる、PLLシンセサイザー採用のTV/FM/AMポータブルラジオ。
- アナログラジオ感覚でつまみを回して簡単に選局、周波数はデジタル表示されます。
- TV、FM、AM各7局、合わせて21局の放送局を記憶させること（プリセット）ができます。いったんプリセットしておけば、あとはプリセットボタンを押すだけでワンタッチ選局ができます（押しやすい上面7ダイレクトプリセットボタン）。
- 大口径12cmスピーカー内蔵による高音質実現。
- 便利なオートスキャンチューニングボタンと入／切できるバックライトボタンを搭載。
- デジタルクロック内蔵（めざまし機能/おやすみタイマー）。
- お好みの音質に調節できる音質調節機能。
- 家庭用電源、乾電池のどちらの電源でも使える2電源方式。

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所には置かないでください。
  - 一温度が非常に高い所（40℃以上）や低い所（0℃以下）。
  - 一直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 一風呂場など湿気の多い所。
  - 一窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。ほこりの多い所。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化し、使えなくなることがありますのでご注意ください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、次のことをお調べください。

ボタンを押しても動作しない

➔ ホールド機能が働いている
ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして、ホールド機能を解除してください。

表示窓の文字や記号が薄くて見にくい

➔ 乾電池が消耗している
➔ 極端に暑い場所や寒い所で使っている

雑音が多く、音が悪い

➔ 乾電池が消耗している
➔ 電波が弱い
建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でお聞きください。

プリセット選局しても、聞きたい放送局が受信できない

➔ 間違った番号のプリセットボタンを押している
➔ プリセットした放送局が消えている
もう一度、プリセットボタンに放送局を記憶させてください。
➔ 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

電源ボタンを押しても電源が入らない、または、電源が突然切れた

➔ 乾電池がカラになり、表示窓に「⊂⊃」が点灯している
乾電池を4本とも新しいものと交換してください。

万一故障した場合は、内部を開けずにソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。
修理内容により、プリセット選局で記憶させた放送局が消えてしまう場合があります。重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。

主な仕様

時計表示　12時間表示

周波数範囲

バンド	周波数範囲	周波数間隔
TV*1	1-12ch	1チャンネル
FM	76.0～90.0 MHz	0.1 MHz
AM	531～1,710 kHz	9 kHz

スピーカー　直径12 cm、丸型 8 Ω 1個
出力端子　◎（イヤホン）端子（ø3.5 mmミニジャック）1個
実用最大出力　350 mW（JEITA*2）
電源　AC 100 V、50/60 Hz
DC 6 V、単1形乾電池4本
最大外形寸法　約277×156×71.5 mm（幅/高さ/奥行き）（JEITA）
質量　約1550 g（乾電池含む）

*1 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。
*2 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

電源コード（1）*1、ソニー単1形乾電池（お試し用*2）（4）、取扱説明書・保証書（1）、ソニーご相談窓口のご案内（1）

*1 100 V専用のため、海外ではご使用になれません。
*2 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 http://www.sony.co.jp/support

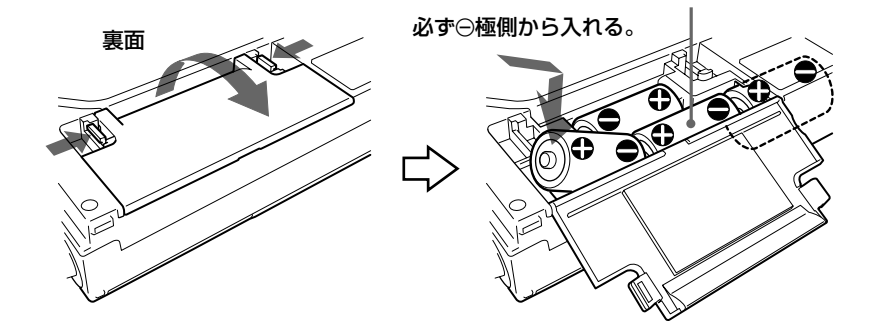
使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 受付時間 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

電源について

乾電池で使う

1 電池入れのふたの両側のつまみを押したまま手前に開ける。
2 乾電池を入れる。
3 ふたを閉める。

初めて乾電池を入れると、表示窓に「AM12：00」が点滅します。点滅を止めるには、時計合せボタンを押して時計を合わせてください。「時計を合わせる」をご覧ください。

ご注意
乾電池で使うときは、電源コードを抜いてください。電源コードをAC IN（エーシーイン）端子に差し込んだままにすると、本機を操作することができません。

乾電池持続時間

(JEITA*)

	TV	FM	AM
ソニー単1形（LR20）アルカリ乾電池	約260時間	約330時間	約550時間
ソニー単1形（R20）マンガン乾電池	約100時間	約130時間	約200時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は、使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換時期

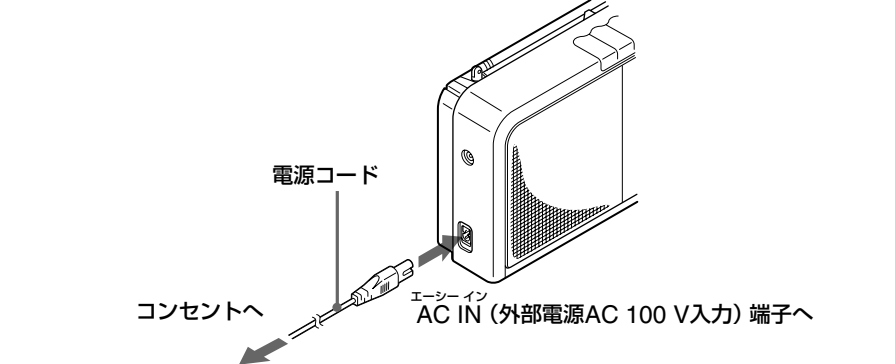
乾電池が消耗してくると、音が小さくなったりひずんだりして、表示窓に「⊂⊃」が点滅します。カラになると「⊂⊃」が点灯して、ラジオが止まります。その場合は、乾電池を4本とも新しいものと交換してください。

電池交換時のご注意

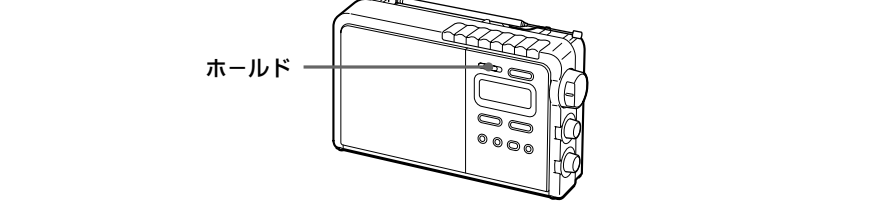
電源を切ってから60秒以内に交換してください。電源が入ったまま交換したり、交換に60秒以上かかると、現在時刻やプリセット選局で記憶させた放送局、めざまし機能の設定が消えてしまいます。その場合はもう一度設定してください。

ご注意
- 長い間乾電池を抜いておくと、現在時刻やプリセット選局で記憶させた放送局、めざまし機能の設定が消えてしまいます。その場合はもう一度設定してください。
- 長い間本機を使わない場合でも、時計と内蔵のマイコンのバックアップのため、乾電池は入れたままにしてください。この場合にも電池は消耗するので約1年で交換してください。

コンセント(家庭用電源100 V)で使う

付属の電源コードをAC IN（エーシー イン）端子とコンセントにしっかりと差し込んでください。
家庭用電源で使うときも、時計と内蔵のマイコンのバックアップのため乾電池は入れたままにしてください。この場合にも電池は消耗するので、約1年で交換してください。

ご注意
- 乾電池を入れずに電源コードを40秒以上抜いておくと、現在時刻やプリセット選局で記憶させた放送局、めざまし機能の設定が消えてしまいます。
- 電源コードのプラグを抜き差しするときは、ラジオの電源を切ってください。電源を入れたまま行うと、電源が切れて「⊂⊃」が表示されることがあります。この場合、もう一度本体の電源を入れると「⊂⊃」は消えます。家庭用電源で使わないときは電源を切り、電源コードをAC IN端子とコンセントの両方から抜いてください。AC IN端子につないだままにすると、乾電池が消耗していなくても「⊂⊃」が表示されます。電源コードをAC IN端子から抜いて、電源ボタンを押すと「⊂⊃」は消えます。
- 旅行などで長い間ご使用にならないときは、電源コードをAC IN端子とコンセントから抜いてください。

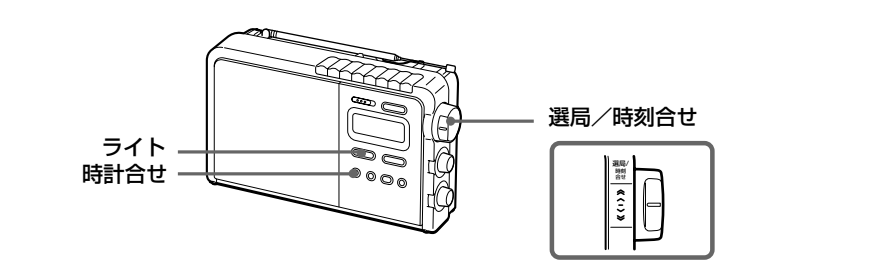
誤操作を防ぐ — ホールド機能

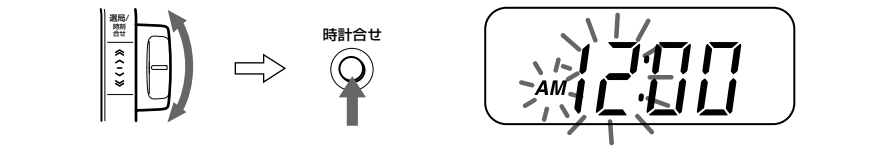
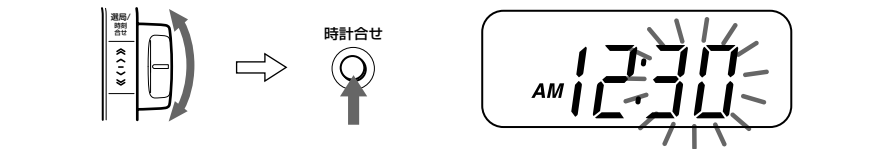
不用意に電源が切れたり、受信局が切り換わるなどの誤操作を防ぐことができます。

ホールドスイッチを矢印の方向に動かすと表示窓に「⊶」が点灯し、すべてのボタン操作を受け付けなくなります。

ホールド機能を解除する

ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして表示窓の「⊶」を消します。

時計を合わせる

初めて乾電池を入れたり電源コードをつなぐと、表示窓に「AM12:00」が点滅します。

1 時計合せボタンを「時」が点滅するまで約2秒以上押したままにする。

2 選局／時刻合せつまみを回して「時」を合わせ、時計合せボタンを押す。

3 選局／時刻合せつまみを回して「分」を合わせ、時計合せボタンを押す。

「：」が点滅を始め、時計が動き出します。

選局／時刻合せつまみの回しかた

︿に合わせると時刻が進み、﹀に合わせると戻ります。
︽または︾に合わせると速く変わります。

秒まで正確に合わせるには

「分」を合わせ、電話の時刻サービス（117番）などの時報に合わせて時計合せボタンを押します。

ご注意

- 選局／時刻合せつまみや時計合せボタンを65秒以内に操作しないと、時刻合わせは中止されます。
- AMは午前、PMは午後です。
  AM12:00 = 真夜中　PM12:00 = 正午

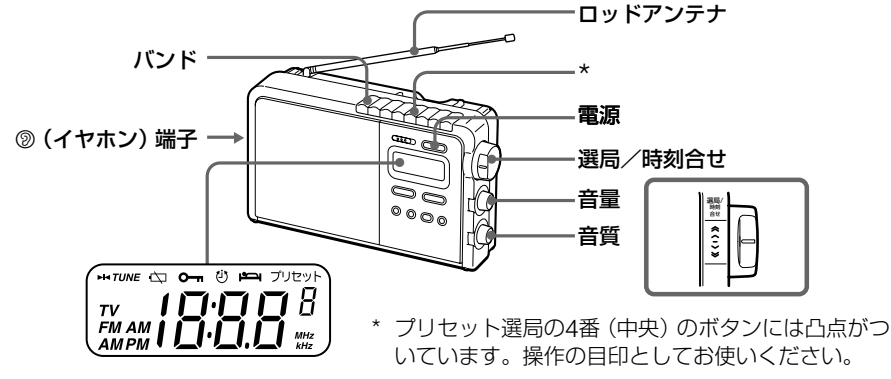
バックライトを使う

ライトボタンを押すと表示窓をバックライトで照明します。
バックライトを消すには、ライトボタンをもう一度押します。

本機を乾電池で使っているとき

乾電池の消耗を防ぐため、バックライトは30秒間点灯し、自動的に消えます。
バックライトが点灯しているあいだにラジオを操作すると、さらに30秒間点灯し続けます。
30秒経過する前に消すときは、ライトボタンを押します。

放送局を受信する — マニュアル選局（手動選局）

* プリセット選局の4番（中央）のボタンには凸点がついています。操作の目印としてお使いください。

1 電源ボタンを押して、ラジオの電源を入れる。

2 バンドボタンを押してTV、FMまたはAMを選ぶ。

押すたびにバンド表示が次のように変わります。

3 選局／時刻合せつまみを回して選局する。

受信周波数が変わり始めます。︿に合わせると数字が進み、﹀に合わせると戻ります。︽または︾に合わせると速く変わります。最小周波数になると「ピピッ」と音がします。
放送局を受信すると ▸◂TUNE を表示し、放送が聞こえます。

4 音量つまみで音量を調節する。

5 音質つまみで音質を調節する。

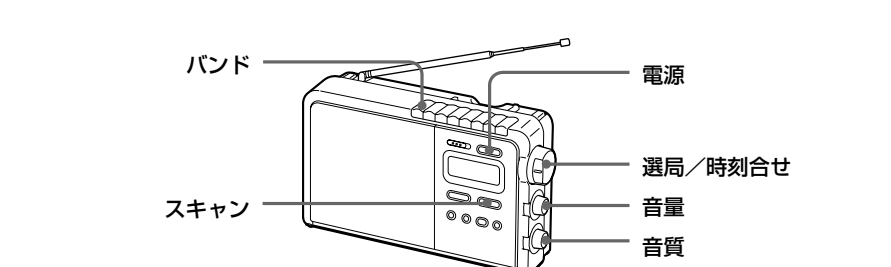
イヤホンで聞く

ⓟ（イヤホン）端子にイヤホン（別売り）をつなぎます。スピーカーからは音が出なくなります。

電源を切るときは

電源ボタンを押します。

放送局を自動的に探す — スキャン選局（自動選局）

TV、FMまたはAMの周波数範囲を自動的に探し、放送局を受信します。

1 電源を入れる。

2 バンドボタンを押してTV、FMまたはAMを選ぶ。

3 スキャンボタンを押す。

最後に受信していた放送局の周波数から次の放送局を自動的に探しはじめ、周波数が変わります。放送局を受信すると3秒間放送が聞こえ、引き続き放送局を探します。

4 お好みの放送局を受信したらスキャンボタンを押す。

その局でスキャンが止まります。

5 より正確に周波数を合わせるには、選局／時刻合せつまみを︿または﹀に合わせる。

6 音量つまみで音量を調節する。

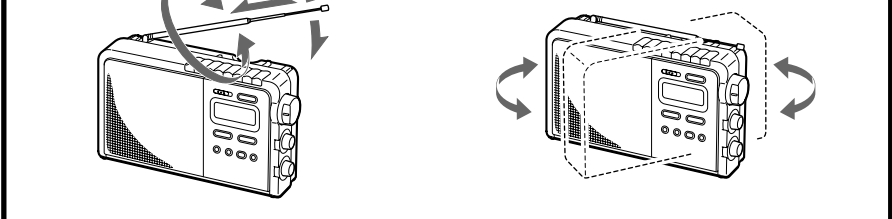
7 音質つまみで音質を調節する。

受信状態を良くする

TV、FM放送の場合

ロッドアンテナを伸ばし、受信状態が最も良くなるように長さや角度を調節します。

AM放送の場合

アンテナを内蔵しているので、受信状態が最も良くなるようにラジオの向きを変えてください。

ロッドアンテナの角度を調節するときは、付け根の部分を持ってください。先端部分を持ったり過剰な力を加えると、アンテナを破損することがあります。

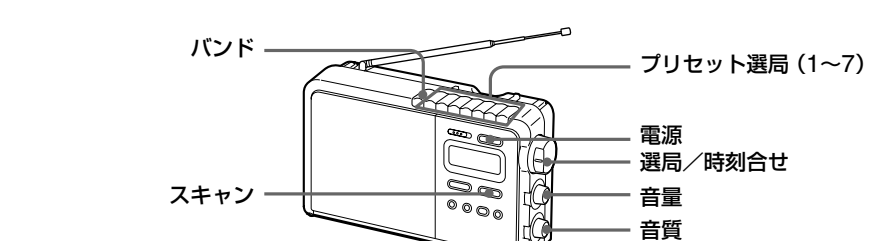
ご注意

このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときはソニーの相談窓口または、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く

— プリセット選局

いつも聞く放送局をTV、FM、AMの各7局、合わせて21局まで記憶させることができます。聞くときは、プリセット選局ボタンを選ぶだけで受信できます。

放送局を記憶させる

1 電源を入れる。

2 記憶させる放送局を受信する。

「マニュアル選局」または「スキャン選局」で放送局を選びます。

3 記憶させたいプリセット選局ボタン（1〜7）を選んで、「ピピッ」と音がするまで2秒以上押したままにする。

受信している放送局が記憶され、表示窓にプリセット番号が表示されます。

例）プリセットボタン「2」にFM放送の90.0 MHzを記憶させたときの表示

つづけて放送局を記憶させるには、手順2〜3を繰り返します。

記憶させた放送局を変更する

手順2からやり直してください。
前に記憶させた放送局は消え、受信している放送局が記憶されます。

記憶させた放送局を聞く

1 電源を入れる。

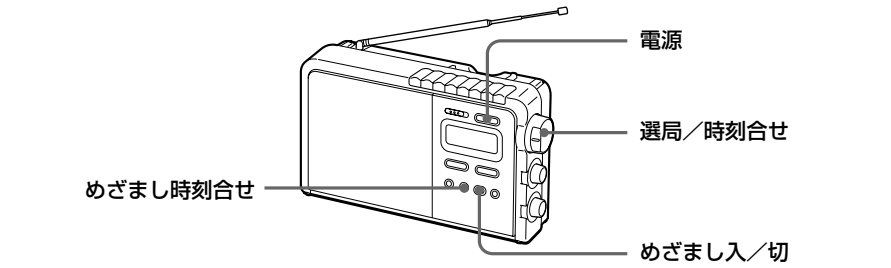
2 バンドボタンを押して、TV、FMまたはAMを選ぶ。

3 プリセット選局ボタン（1〜7）を押し、聞きたい放送局を選ぶ。

プリセット選局ボタンは2秒以上押さないでください。受信している放送局が前に記憶させた放送局と入れ換わってしまいます。

4 音量と音質を調節する。

ラジオで目覚める — めざまし機能

時計を合わせてから操作してください。設定した時刻になると、自動的にラジオの電源が入ります。ラジオの電源が入っていても切ってあっても、めざまし機能の設定ができますが、「ラジオを聞く」をご覧になり、あらかじめ聞きたい放送局を選んでおいてください。
選局／時刻合せつまみの回しかたは、「時計を合わせる」をご覧ください。

1 めざまし時刻合せボタンを「⏰」と「時」が点滅するまで2秒以上押したままにする。

2 選局／時刻合せつまみを回して「時」を合わせ、めざまし時刻合せボタンを押す。

3 選局／時刻合せつまみを回して「分」を合わせ、めざまし時刻合せボタンを押す。

「⏰」が点灯し、設定が完了します。

4 ラジオの電源が入っている場合は、電源ボタンを押して電源を切る。

ご注意

- 選局／時刻合せつまみやめざまし時刻合せボタンを65秒以内に操作しないと、めざまし機能の設定は中止されます。
- ラジオの電源を切っていないと、めざまし機能は働きません。

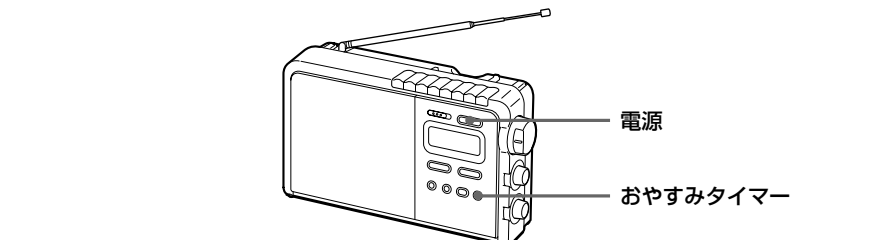
設定した時刻になると

放送を受信し、約60分後に自動的に電源が切れます。電源が入っているあいだは「🛏」を表示します。途中で電源を切るには電源ボタンを押します。
毎日同じ時刻に電源が入り、放送局を受信します。

めざまし機能を解除する

めざまし入／切ボタンを押して「⏰」を消します。
めざまし機能を再び働かせるには、めざまし入／切ボタンを押して「⏰」を表示させます。

ラジオを聞きながら眠る — おやすみタイマー

設定時間（15分、30分、45分または60分）が過ぎると、自動的に電源が切れます。

1 電源を入れ、聞きたい局を選ぶ(「ラジオを聞く」参照)。

2 おやすみタイマーボタンを押す。

「60」が表示され、「🛏」が点滅します。

3 「🛏」が点滅しているあいだにおやすみタイマーボタンを押し、何分後に電源を切るかを選ぶ。

おやすみタイマーボタンを押すたびに、次のように設定時間が変わります。

→ 60（分）→ 45 → 30 → 15 ┐

約3秒後に「🛏」が点灯し、タイマーが働き始めます。

設定した時間が過ぎると

自動的に電源が切れます。

おやすみタイマーを解除する

電源をいったん切って、もう一度入れます。表示窓の「🛏」が消えます。

おやすみタイマーの動作中に設定時間を変える

おやすみタイマーボタンを押して設定時間を選びます。

ご注意

- おやすみタイマーの動作中にも、ラジオの操作をすることができます。
- ラジオの電源が入っていなくても、おやすみタイマーボタンを押すと、自動的に電源が入ります。